

**機能概要**

GP-4調光器は、面倒なモジュールの入れ替えなくほぼ全ての一般的な光源を一括コントロールできます。白熱灯、電磁/電子トランス付ローボルト、ルートロン製安定器を搭載した蛍光灯の調光制御を行い、メタルハライド、ネオン/冷陰極管、他社製安定器付蛍光灯、HIDなどについてはオン/オフ制御が可能です。本体には冷却ファンを持たず、自然対流方式により放熱を行うので、低騒音かつメンテナンスが容易です。なお、このGP-4調光器はグラフィックアイ4000シリーズ、グラフィック6000/7000シリーズに対応します。

**定格・仕様**

供給形態 : キャビネット入り  
 外形寸法 : 縦459mm、横280mm、奥行158mm  
 使用周囲温度範囲 : 0℃~40℃ (一般屋内取付専用)  
 相対湿度90%以下 (無結露)  
 設置方法 : 壁掛け専用  
 キャビネット色 : 黒色つや消し  
 回路数 : AC100V 4回路  
 最大容量 : 1回路あたり16A 4回路計64A  
 本体重量 : 14kg  
 適合電線 : 各負荷線 5.5mm<sup>2</sup>以下の電線  
 弱電線端子 3.5mm<sup>2</sup>以下の電線

**特記事項**

- \* 一般屋内のみにて設置・使用のこと。
- \* 周囲温度0~40℃、相対湿度が90%以下(無結露)となるところにのみ取り付けのこと。
- \* パネルからは多少の熱が発生するため、通風孔をふさがないこと。
- \* 放熱スペース確保のため、GP-4の前面、上方向、下方向ともに305mm以上のスペースを確保のこと。
- \* 傾斜角度7度以内に取り付けること。
- \* 作動中にうなり音や内部のリレーがカチカチと鳴ることがあるため、多少の音が許容される場所に取り付けること。
- \* 信号配線は必ず「ひと筆書き」とすること。
- \* 信号線及び一次側電源、二次電源側負荷線は、別々の配管配線とすること。
- \* 電源配線が他の電子機器/音響機器、またそれらの配線、スピーカーコードなどと1.8m以上離れるようにすること。
- \* 仕様は予告無しに変更することがあります。



GP-4-2L-JA (AC100V専用)

REVISION: 4.3  
 RELEASED: 2006.03.01  
 PAGE : 1/3

承認

高橋

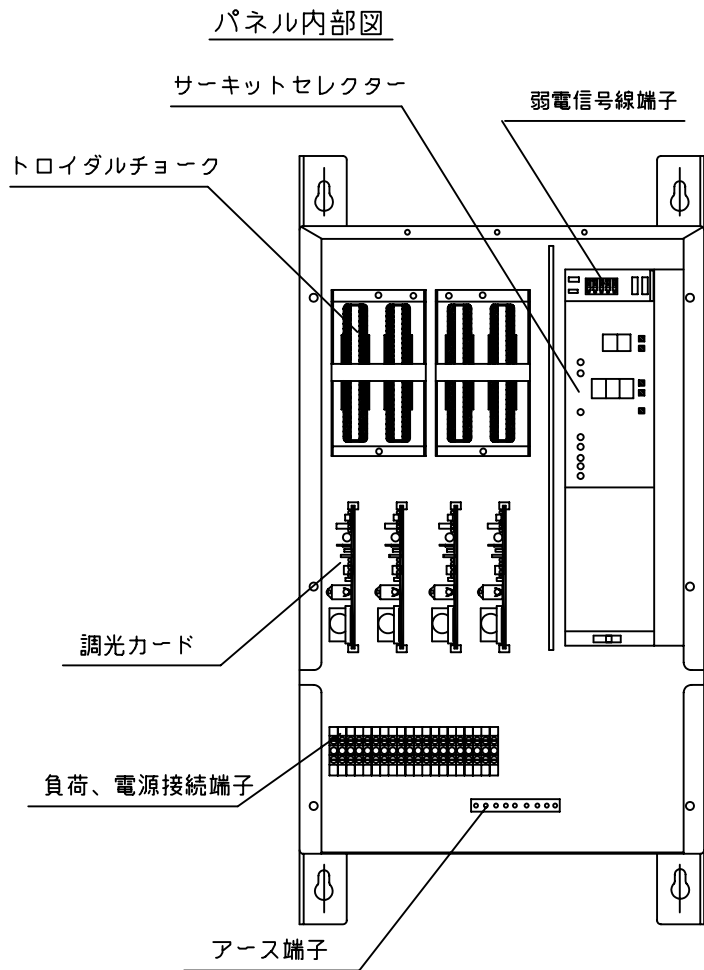
検図

細谷

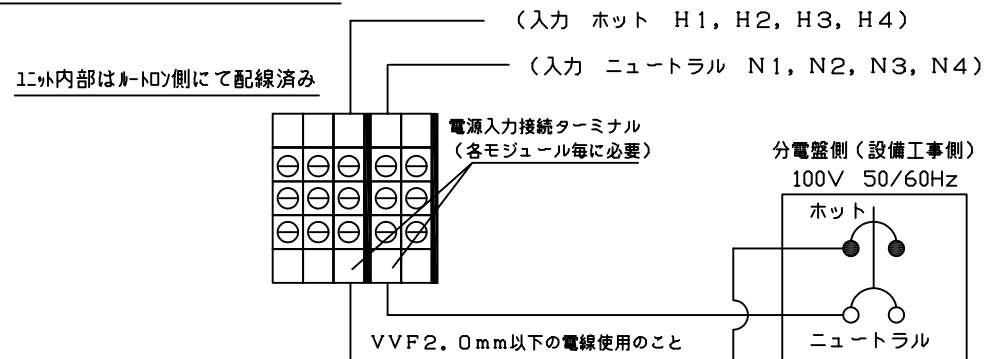
作成

谷崎

グラフィックアイ4000・グラフィック6000/7000シリーズ  
 GP-4 4回路調光器

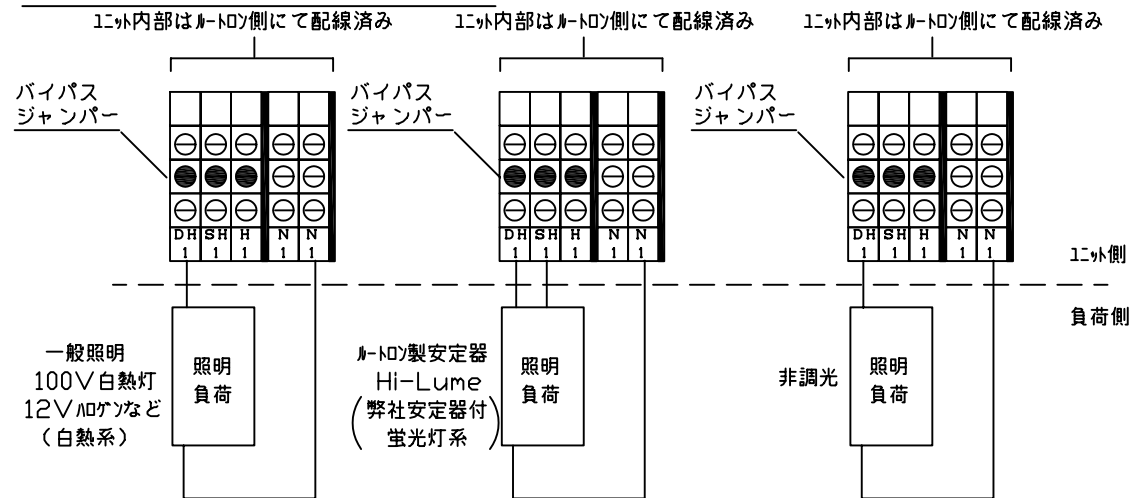


1. 入力接続ターミナル配線方法について



\* GP-4 調光器は分電盤より100V単相2線×4回路を接続可能(各回路最大負荷16A)

2 2次接続ターミナル配線方法について(接続例)



照明負荷配線について

- \* 各負荷のブレーカーの設置は、別個所とし本製品対象外とする。
- \* 給電用ロックアウト位置は、パネルの左右面及び下面にあり。
- \* 各負荷の接続容量は、最大負荷容量(16A)未満とする。
- \* 接続可能配線サイズ: 2mm以内(端子での送り配線不可)
- \* 接続ターミナルは、各3端子ずつバイパスジャンパーが装着され、設置時の過負荷、誤配線等より調光ユニットを守る働きを有する。配線等確認後、電源電圧オフにて取り外しのこと。

!! 同梱の専用ドライバーで結線のこと

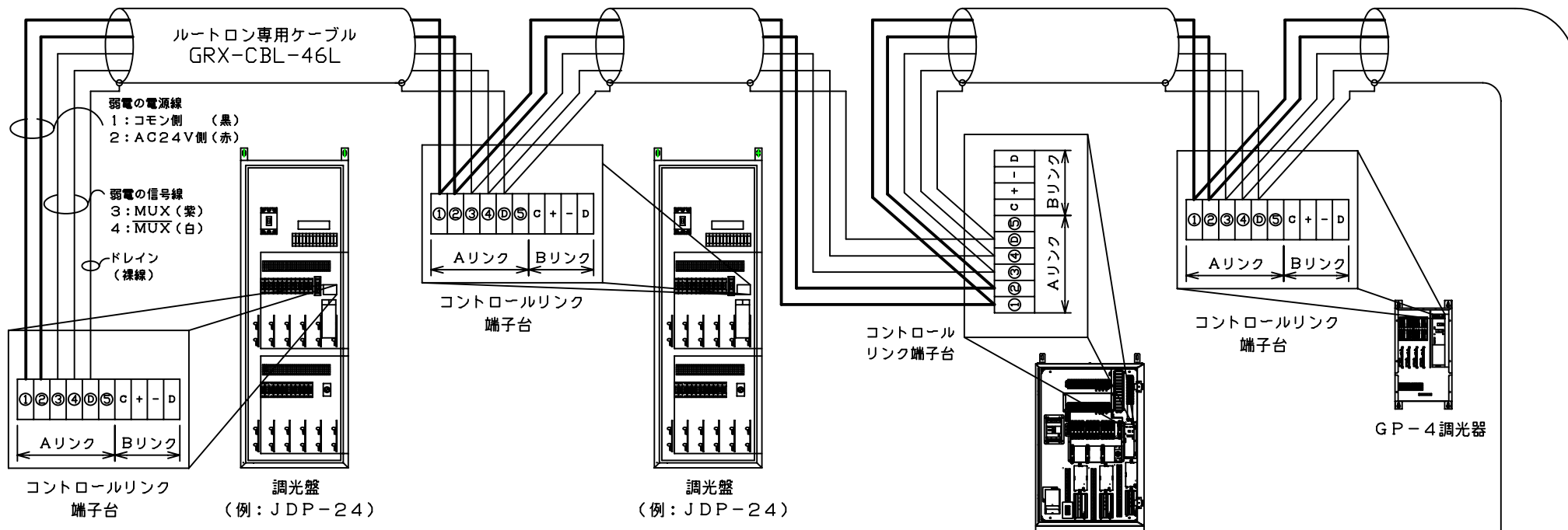


GP-4-2L-JA (AC100V専用)

REVISION: 4.3  
RELEASED: 2006.03.01  
PAGE: 2/3

承認 高橋 検図 細谷 作成 谷崎

グラフィックアイ4000・グラフィック6000/7000シリーズ  
GP-4 4回路調光器

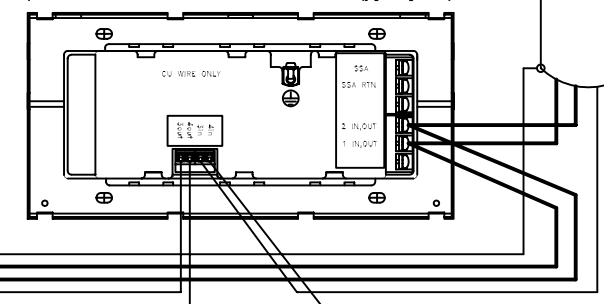


- ここでは弱電のコントロール配線の代表的な配線例を示しています。本システム全体でJDP、JCP、GP-4は合計最大32台まで、コントローラーは最大8台(8ゾーン以下のモデルのみ。16ゾーンは1台を2台分、24ゾーンは1台を3台分として数えます)まで接続でき、補助コントロール接続可能台数は、16台までとなります。信号線の最大延長はシステム全体で600mです。(GRX-CBL-46L使用時)
- ルートロンケーブル、GRX-CBL-46Lは5芯になっております。各端子には、1:黒 2:赤 3:紫 4:白 (5:オレンジ) D:ドレイン(裸線)の順でお使いください。  
1・2番はAC24Vの電源線、3・4番は信号線となっております。また、システム内にAC/GC電源の調光盤がない限り、5:オレンジの線は使用しません。  
なお、調光盤の(D)番端子に必ずこのドレインワイヤーを接続して下さい。ドレイン線はアースと接続しないでください。
- もしルートロンケーブルをご使用にならない際は、以下の電線を使用してください。  
1・2番 : CVVS 3,5mm<sup>2</sup>-2C  
3・4番 : BELDEN-87761  
ベルデンケーブルどうしをつなぐ時は各ケーブル内のドレインワイヤーを調光盤の(D)番端子に必ずこのドレインワイヤーを接続して下さい。ドレイン線はアースと接続しないでください。
- AC/GC電源(非常用電源)の調光盤がシステム内にある場合は、オレンジ線を全てのJDP、JCP、GP-4の5番端子に接続してください。
- ケーブルの結線は、本図の様に全システムを送り配線(一筆書き)とし、もし途中で分岐する場合は、本線から2.4mまでとしてください。
- これらの信号線は、100Vや200Vの電源ライン及び100V調光出力線と同じ配管、ケーブルラック内に引き回さないようにしてください。もし、同一とすると調光信号が正しく送られず誤動作の原因となります場合があります。
- Bリンクをご使用になる際は、別途、取付取扱説明書をご参照になるか、弊社までお問い合わせ下さい。

ルートロンケーブルGRX-CBL-46L 色と端子

ケーブル色	GRX-CBL-46L				
	黒	赤	紫	白	裸線/ドレイン
JDP/JCP/GP-4 端子番号	1	2	3	4	(5) D
GRX-4000/G6000/G7000 端子番号	1	2	3	4	-

メインコントローラー  
(GRX-4106-T-JA-を例と示す)



(別途4000/6000/7000シリーズの弱電線配線図を参照下さい)

 <b>LUTRON</b> ルートロン アスカ株式会社			JDP/JCP/GP-4 配線図	REVISION: 4.3 RELEASED: 2006.03.01 PAGE : 3/3
承認	検図	作成	グラフィックアイ4000・グラフィック6000/7000シリーズ 調光盤/照明制御盤/調光器 弱電信号線 配線図	
高橋	細谷	谷崎		